こおりやま広域圏内の図書館をたずねて

※本企画は、「こおりやま広域圏」内の図書館を広くご紹介し、相互利用の促進を図るためのものです。

VOL.06　田村市図書館　本館

令和7年8月1日発行

図 書 館 の 概 要

田村市図書館 本館は、昭和55(1980)年に船引町立図書館として開館し、平成17(2005)年に船引町、常葉町、滝根町、大越町、都路村が合併して田村市となり、他の4つの旧町村の図書館を統括する本館となりました。町にゆかりの画家、竹久夢二に関する資料を収めた「夢二ルーム」のほか、当市出身の数学者・佐久間庸軒に関する資料を取りそろえています。なお敷地内には夢二の歌碑もあり、旧片曽根村村長でのちの代議士 助川 啓四郎と夢二の友情に始まる絆を今に伝えています。

開館年月日　昭和55(1980)年5月16日

蔵書数（令和6年度）

(一般) 110,555冊　(児童書) 67,925冊　計178,480冊

貸出冊数（令和6年度）

(一般)　32,498冊　(児童書)　8,588冊　計41,086冊

休館日　毎週月曜日、年末年始、特別整理期間

開館時間　10:00～19:00(土日祝は17:00)

館内の様子

図書館の特色

課題図書・おすすめ本コーナー

季節毎や時事、職員のおすすめする本の特設展示コーナーです。

竹久夢二生誕140年記念企画
「夢二と船引」その時代と影響

夢二と船引町とのかかわりについての関連本の特設展示コーナーです。

学習コーナー(２階)

個人学習机席を備えた学習コーナー。

本屋大賞コーナー

本屋大賞受賞作の展示コーナー

夢二の歌碑

元々は夢二が定宿とし、画展を開いていた「御代田旅館」の襖に夢二が落書きしたものを写し取って石碑としたものです。

司書のお勧め資料

司書の伊藤さんと
竹久夢二、佐久間庸軒関連本

『竹久夢二と佐久間庸軒』

田村市図書館でおすすめする本は、竹久夢二と佐久間庸軒に関する資料です。
2人に関する資料は、本以外にもたくさん資料があり、特に竹久夢二については、２階に「夢二ルーム」を設けており、貴重な画、軸など常時展示をしています。
今回、おすすめする本については、ぜひ読んでいただければと思います。

竹久 夢二「美と愛への憧憬に生きた漂泊の画人　編著＝石川桂子・谷口朋子」
「大正モダン・デザインブック　編＝石川桂子・谷口朋子」
「竹久夢二　執筆者＝海野弘」
佐久間庸軒「佐久間庸軒の旅日記　編集＝船引町教育委員会編」

「青衣女人図」
(提供・田村市図書館本館)
竹久夢二の代表作の一つ。

夢二ルーム

元代議士 助川啓四郎

周辺の見どころ

写真提供:田村市図書館本館

『安倍文殊堂』

田村市の生んだ偉大な数学者・佐久間庸軒の「算額」が残るお堂です。このほか地域内の寺院などに、建物や碑が残っており、「算額」めぐりをする方もいます。

田村市を守護する『お人形様』

江戸時代以前頃から無病息災を願い人々を守るため「お人形様」が祀られたと言われています。
「屋形のお人形様」「朴橋のお人形様」「堀越のお人形様」と3つの地区に祀られており、それぞれに表情があり、祭礼にあわせ「お衣替え」（4月）も行われています。このほかふるさとの再認識と列車運行の安全を目的に船引駅に祀られ、お出迎えをしています。

編集後記

令和元(2019)年10月に開始された「こおりやま広域圏」内の図書館の相互利用を促進して交流を深めるため、令和 6(2024)年1月からスタートしたこの企画の6回目は、「田村市図書館本館」を紹介します。平成17(2005)年に田村郡の４町１村が合併し田村市となり、船引町の図書館が田村市図書館本館となりました。町とゆかりのある画家竹久 夢二を記念した「夢二ルーム」、偉大な数学者佐久間庸軒に関する資料を備えています。田村市と夢二の絆を今に伝える役割も果たしています。